

倫理規定

イタリア共和国2001年法令第231号遵守

目次

1 _ 序文	3
2 _ 歴史	3
3 _ 哲学	3
4 _ 対象者	4
5 _ 従業員およびフリーランサーの義務	4
6 _ 一般規	5
6.1 _ 倫理原則	5
6.1.1 _ 適用される法律および行動規則の遵守	5
6.1.2 _ 公平性	5
6.1.3 _ 透明性と信頼性	6
6.1.4 _ 正直、公平性、誠実	6
6.1.5 _ 機密情報保持義務	6
6.1.6 _ 人と人材の尊重	7
6.1.7 _ 環境の尊重と保護	7
6.2 _ 企業情報の公平性と透明性	8
6.3 _ 反マネーロンダリング	9
6.4 _ 工業所有権および知的財産権の保護	9
6.5 _ 利益相反の防止	9
6.6 _ 職場の健康および安全	9
7 _ 社内の人間関係	10
8 _ 第三者との関係	11
8.1 _ 顧客との関係	12
8.2 _ サプライヤーとの関係	12
8.3 _ 公的機関との関係	12
8.4 _ 行政機関との関係	13
8.5 _ 独立行政機関との関係	13
8.6 _ その他の団体との関係	13
8.7 _ 政治団体および社会団体、労働組合との関係	14
8.8 _ 外部とのコミュニケーション	14
9 _ 最終規定	14
9.1 _ 違反行為およびその結果の懲罰	14
9.2 _ 倫理規定の採用および関連事項の更新	15

1_ 序文

本倫理規定は、Sportswear Company Groupによって認められた、会社のすべての意思決定プロセスの基盤となる一連の価値、行動規則、会社の行動原則を規定するものです。

本規定に記載された行動規則は、グループの全カンパニーにより正式に遵守されるべきものであり、基本的人権の尊重に従って、Sportswear Companyの社会責任の方針の実行と環境資源および環境資産の保護を手助けするものです。

2_ 歴史

Stone Islandは、1982年に偶然に設立されました。そのストーリーは…

「ある日、ひとつの特殊な素材が到着しました。それは、片面は赤、もう一方の面は青という特徴を持つトラックの幌に使用される防水布でした。これをどう使うか。その布地を服に適応させるにあたって、素材の繊維を柔らかくするため、洗濯機に入れ、長時間にわたって水でストーンウォッシュを施しました。」

当時、会社名は商品のブランド名と同じC.P. Companyと名付けられていました。また当時、その開発者の創造力のおかげで、C.P.COMPANYはイタリアンカジュアルウェアのパイオニアとして、全てのカジュアルウェアブランドの起源であると考えられていました。

最初の試作品は驚くほど斬新なものでした。しかし、C.P. Companyの世界とはまったく別のものであり、C.P.COMPANYには属さないテイストのものでした。そのため、このユニークな布地を「Tela Stella」と名付け、7着のジャケットを作りました。そして、この小さなコレクションに Stone Islandという名を与えることにしたのです。

Stone Islandと言う名前は、海辺で長い年月をかけて腐食したような雰囲気と、当時すでに研究が重ねられていたミリタリーウェアの影響を受けています。その名前は、海への愛情と、製品を“加工する”のに初めて使った手法に由来します。誕生した初シーズンから、Stone Islandの製品には、ブランドの象徴である布に刺繍で描かれたコンパスのバッジが、まるでミリタリーの勲章のように付けられています。

3_ 哲学

研究、実験、使用時の機能性へのこだわりは、スポーツウェアブランド、Stone Islandの代名詞といえます。繊維や素材への絶え間ない研究の成果を画期的なデザインに組み合わせたテイストがブランドの持ち味となっています。Stone Islandは、フォルムの研究と素材に“手を加える”ことを通して、衣服の領域の極限まで踏み込んだ独自の表現をシーズン毎に生み出してきました。

ユニフォームやワークウェア、そしてその新たな使用ニーズに合わせた進化を研究することは、ウェアの機能性は単なる見た目の美しさとは異なる、というプロジェクトを定義を明示するためのStone Islandの定点となっています。

Stone Islandの強みは、Sportswear Companyのカラーラボラトリーで継続的に行われている染色や加工の実験を通して実用化された縫製後に手を加える独特の仕上げ方式にあります。

Stone Islandのノウハウの基礎となっている不可侵の遺産である蓄積されたすべての知識や経験は、多くのトライアルテストと布地染色の調合、そして情熱を持ってこのプロジェクトに取り組んできたすべての人々によって開発されてきた手法を集めた歴史的なアーカイブに保存されて

います。

結果としての生まれるプロジェクトは、発展の原動力となる社会倫理基盤のおかげで、健全な企業の中で日々成果を生み出し、本来の個性を失うことなく変化して形を成す原料のように、絶え間なく着実に成長する柔軟性の高い組織です。Stone Islandは倫理感あるハートを携えた企業です。

4_ 対象者

Sportswear Company Group (以下、「カンパニー」、「Sportswear」、「グループ」とします)が、様々な企業活動において行うすべての行動、活動、関係、取引は、本倫理規定および本規定として、次に記載される詳細に基づきます：

本倫理規定には、グループを導く原則が含まれます。それは、すべての代表権を持つ人物、経営陣、監督部門、管理する部下を持つすべての人物、また事実上、グループのカンパニーやそれらと協力関係にあるもの、すべての従業員、すべてのパートナー（コンサルタント、代理店、代表者、中間業者などを含むがこれに限らない）、およびグループと仕事関係を持つその他すべての人物（以下、「対象者」とします）に、事業目標に達するために、その役職にかかわらず例外なく義務づけられるものです。

対象者は、本倫理規定の規定を認識しなければならず、また、カンパニーの従業員は、本規定の厳密な遵守に対し積極的に貢献すること求められます。

特に、グループに属するカンパニーのディレクターは、企業目標の設定、投資の提案、プロジェクトの実施、および管理者としてのあらゆる決断や行動について、本倫理規定の原則に従うことが求められます。同様に、マネージャーおよび部門長は、グループ カンパニー内で経営活動を実施するにあたり、カンパニー内において、またあらゆる理由でグループと関係を結ぶ第三者に対して、前述の原則を遵守しなければならず、それによって相互連携の結集力と精神を強化します。

この目的のため、本倫理規定は、協力者やビジネスパートナーをはじめ、グループカンパニーとビジネス関係を持つその他すべての人物も注意を払うべきものです。

Sportswearはそのため、情報、トレーニング、本倫理規定の内容に対する認知向上を目的とした適切なツールの使用などを通じて、本倫理規定を可能な限りの最大範囲まで広めることを誓約します。

特に、本倫理規定および、その実際の効果と新規事業のニーズや準拠法により求められるアップデートについて、対象者は、書類、Eメールまたはカンパニーのウェブサイトを通じて注意を払う必要があります。

5_ 従業員およびフリーランサーの義務

グループの従業員は、正直、誠実、専心、専門家としての厳格さの原則に基づき、既存のすべての規則と規制を遵守し、各自の責任の下の役割を果たす必要があります。 行動、取引、交渉、およびSportswearの従業員が行うあらゆる活動は、公平性、適切な管理、透明性、完全性、情報の真実性の原則と会社の企業の手続きに従わなければなりません。中間業者などを含むがこれに限らない）、およびグループと仕事関係を持つその他すべての人物（以下、「対象者」とします）に、事業目標に達するために、その役職にかかわらず例外なく義務づけられるものです。

あらゆるレベルの従業員間の関係、ビジネス目的で関係を持った第三者との関係は、協力、忠実、相互の尊重の基準に基づいたものでなければなりません。

特に、従業員には次のことが求められます：

- 本倫理規定の規定を正式に遵守し、それに反するいかなる行動も控えること。
- 本倫理規定の条項を正しく遵守し、本規定に反するいかなる行動も控えること。
- 本倫理規定の違反の可能性および/あるいは違反の疑いの調査について完全な協力を提供すること。
- カンパニーと関係を持つ第三者に対し、本倫理規定を通知し、遵守を求めること。

Sportswearのフリーランサー（コンサルタント、代理店、代表者、中間業者などを含むがこれに限らない）、およびグループとビジネス関係を持つすべての人物も同様に、本倫理規定に含まれる原則の遵守が求められます。

グループは、可能な限り最大の範囲まで本倫理規定を広めるために、<pt134>全スタッフがアクセスできる掲示板と、ウェブサイト上に</pt134>公開します。また、発生する可能性のあるあらゆる違反に対し、一貫性と公平性、統一性をもって、適切な処罰を考慮・実行し、労働契約を規制するあらゆる適用可能な規定を遵守して行動することを約束します。

6 一般規定

6.1 倫理原則

この目的を果たすために、カンパニーは以下の原則（以下「原則」とします）を遵守します。

- Sportswearが事業を行うすべての国で適用される法律と規制を遵守する。
- 従業員、フリーランス、顧客を公平に扱う。
- 透明性と信頼性。
- 正直、公平性、誠実
- 機密情報保持義務。
- 人および人材の尊重。
- 環境の尊重と保護。

カンパニーの活動を管理し、対象者の行動を支援する本原則の詳細は次となります。

6.1.1 適用される法律および行動規則の遵守

対象者は、カンパニーの利益活動において、特に行政機関との関係において、既存の規則に基づく公平性および合法性の原則に従い、また、最も厳格な行動規則を遵守して行動しなければなりません。

6.1.2 公平性

対象者は、様々な企業活動の管理および関連する決断（顧客／ビジネスパートナーの選別、スタッフ管理、業務の構成、納入業者の選定と管理、コミュニティや代表機関との関係などを含むがこれに限らない）を行うなかで、専門家としての厳格さと、客観的かつ中立な評価基準に従って判断をし、カンパニーの最善の利益のために公平に行動しなければなりません。

6.1.3 透明性と信頼性

対象者は、業務やビジネスにおける活動、行動、取引、交渉、一般的な行為において、最大限の透明性と信頼性を保証しなければなりません。

対象者は、企業活動の管理において、透明性、信頼性、完全かつ正確な情報の提供と、常にあらゆる機密性保持に関する義務を果たすことが求められます。

グループは、あらゆるビジネス活動における行動について、内部統制制度と適用される規則、および会社手続きを遵守することの重要性に対し、従業員の認知を向上させ、すべての会社レベルで統制の重要性を促進し普及させます。

カンパニーは、適用されるあらゆる法律で求められる活動に関して、この目的のために特に指名された代表者を通じて、社内外の管理機関と協力します。

6.1.4 正直、公平性、誠実

対象者は、カンパニーとの間にある様々な関係の枠組みのなかで、カンパニーの利益に反する行動を控え、グループ全体の利益の追求と本倫理規定の原則に反するいかなる行動も正当化してはいけないことを認識しなければなりません。

カンパニーは、会社の使命をさらに発展させることに貢献する、健全かつ公平な競争を認め、競争に関して適用される規則を厳格に遵守し、不正な競争の可能性のある行動への関与、および/あるいは支援を行いません。

すべての活動は、最大限の注意、勤勉、専門家意識をもって、相互尊重および協力の精神のもとに行われなければなりません。

対象者は、託された責任について、カンパニーのイメージと評判の双方を保護しながら、適切に業務を実施することが求められます。

6.1.5 機密情報保持義務

カンパニーは、機密情報保持の規則は根本的なものであり、あらゆる規定に必要なものであることを認知しています。そのため、Sportswear Company S.p.A.は、所有するすべての情報の機密性を保護し、告知と情報を受けた上での合意がある場合を除き、あらゆる場合において、適用されるすべての個人情報保護法を遵守し、どんな機密情報をも利用しません。

対象者は、カンパニーとそのパートナーとの様々な関係の枠組みの中で、いかなる場合においても、業務や職務上の理由で得た知識による機密情報や公有情報でない情報を、個人的な目的、担当業務以外の目的、カンパニーの利益のために実施される活動に以外の目的のために、使用してはいけません。

従業員やフリーランサーは、種類を問わず、直接・間接的、個人的利益または金銭的利益にかかわらず、機密情報の使用により利益を得ることはできず、従業員やフリーランサーは、機密情報を他者に開示したり、使用を推奨したり、奨励してはいけません。

第三者に対するいかなる情報開示も、会社の規則と規定に則り、承認された個人対してのみ許可されます。

Sportswear Company S.p.a. は、情報の保護を目的とした方針と手続き適用し、適切に更新を行います。

6.1.6 _ 人と人材の尊重

グループは、あらゆるビジネスの成功の鍵として、人材の重要性を認知しています。そのため、グループは、職場環境と行動の奨励を次の内容を基礎として誓約します：

- 個人の尊厳および個性の尊重に基づき、いかなる形式の不法な労働も認めない。この点について、いかなる形式の不法な労働も認められません。
- すべての人に対し平等な機会を保証し、個人の尊厳および個性の尊重に基づく公平な扱いを保証するため、差別および虐待を防止する。
- 各メンバーが、グループの利益のためにそれぞれの責任の下に決断できることを保証するため、役割、責任、権力、情報入手を定義する。
- 従業員の会社生活の特定の時期に提供される組織的トレーニング、および個人オペレーションスタッフにここに提供される継続的なトレーニングを通じ、人材の職業上の成長に努める。

すべての従業員と組織のその他のあらゆるメンバーは、次の内容を遵守するものとします：

- 本倫理規定に含まれる規則の解釈および実施に関して、明確にする必要がある場合は、ラインマネージャーまたは監査委員会に連絡する。
- グループの利益に実際に、また明らかに相反する可能性のある状況や決断を避ける。
- 本倫理規定に違反する、または違反が生じる可能性のあるあらゆる状況について、ラインマネージャーに直ちに通知する。

本規定の規則は、スタッフが従うべき契約義務の重要な部分であり、イタリア共和国民法第2104条が適用されます。本倫理規定のいかなる不遵守も、適用されるあらゆる規則に従い、発生した事実の深刻度に基づき、懲戒的視点からグループが判断し適切な制裁処置を適用するものとします。

6.1.7 _ 環境の尊重と保護

グループは、環境保護に関する現行の法令に従い、環境保護および天然資源の持続可能な使用の必要性に配慮しながら、製造、管理、事業支援の活動を行います。環境保護に関して、グループは特に次を行うものとします：

- 環境保護、エネルギー効率、天然資源の持続可能な使用の基準、ハイテクノロジーソリューションの使用を通じて、可能な限り環境保護と呼応した活動および手続きを促進する。
- 納入業者に、最善の技術と基準を基に、動物に対して健全で人道的な手続きの採用と動物を尊重した取り扱いを求める。
- すべての活動とプロセスに対する環境へのインパクトを評価する。
- 環境問題の管理を最適化するために、内部（例：従業員）または外部（例：機関）などの利害関係者と協力する。
- 行政により要求される許可、登録、通知の遵守を含めた現行の規制に従い、プロセスの追跡可能性とサプライチェーン全体の管理に務め、内部および第三者により発生したあらゆる廃棄物を管理する。
- 地下水や環境を汚染する可能性のある有害な化学薬品の有害な影響に対抗し、それ

らから人体の健康や環境の保護を促進するために必要なすべての対策を講じる。

- 現行の規制に従って、環境保護を支援することにより、オゾン層を破壊するあらゆる物質を正しく管理する。
- 開発や投資に関し、地域や環境にインパクトを与えるあらゆる可能性を考慮し、削減しうる対象の選択を行う。

グループは、環境や地域に害をもたらす可能性のあるあらゆる種類の活動または行為を非難します。

6.2 _ 企業情報の公平性と透明性

Sportswearは、あらゆる業務の実施において、内部監査制度の重要性および適用される規制と会社手続きの遵守について、従業員の認知を高めることにより、会社のあらゆるレベルにおいて統制の文化を促進し広めます。それは次を目的とします：

- 効率性、効果、費用対効果に関し、多様なビジネスプロセスの妥当性を確認する。
- 会計記録の信頼性と正確性を確保し、企業資産を保全する。
- 準拠法に則り、あらゆる会計義務および納税義務を満たすことを保証する。

行動、運営、取引は、法律およびあらゆる適用される会計原則で定められ、正式に認められ、証明可能、合法、矛盾しない適切な基準に従って、カンパニーの会計システムに適正に記録されるものとします。

記録されたあらゆるデータが、真実性、完全性、透明性の要件を満たしていることを保証するために、各取引記録は、実施された活動の適切かつ完全な補助文書と合わせて、グループカンパニーにより、次の要件が可能なように保存されます。

- 正確な会計記録。
- あらゆる取引の基礎をなす特徴および理由の即座の特定。
- 各取引の公式な年代順の容易な復元。
- 意思決定、承認、実施手続きの確認、多様なレベルの責任の特定。

各従業員およびフリーランサーは、各自可能な限り、カンパニーの管理に関連したあらゆる事実が、適正かつ適時に関連するグループカンパニーの会計に記録されていることを保証するよう行動するものとします。

あらゆる会計記録は、関連補助文書の証拠を正確に反映していなければなりません。そのため、各従業員およびフリーランサーは、その目的に指定されたように、あらゆる補助文書が合理的に利用でき、論理基準に従ってまとめられていることを保証しなければなりません。

内部監査制度は、カンパニーの資産を保護し、企業活動を効果的に管理し、グループの財務および経済状況に関する明確な情報を提供し、あらゆるビジネスリスクの識別と削減を目的とする、事業部門ごとがプロセスにおいて実行するすべての管理活動が含まれます。

さらに、従業員とフリーランサーは、その責任の範囲に限り、有形無形を問わず、業務目的に関連した会社資産を責任をもって保持しケアすること、ならびに不正に使用しないことが求められます。

6.3 _ 反マネーロンダリング

対象者は、グループ内で構築された多様な関係において、いかなる方法、いかなる状況においても、違法の、また、犯罪活動のマネーロンダリングに関わらないこととします。

グループの会社と従業員、および/あるいはそのフリーランサーは、非随時のサプライヤーやその他のビジネスパートナーといかなる関係をも確立する以前、あるいは契約を結ぶ前に、相手方のモラルの誠実性、評判、名声を確かめるものとします。

グループは、自国または国際的な規則、規制にかかわらず、あらゆる反マネーロンダリングの規則と規制を遵守するものとします。

6.4 _ 工業所有権および知的財産権の保護

グループは、法令遵守の原則を適用し、工業所有権および知的財産権を保護するあらゆる国内、EU、国際規則に従うものとします。

対象者は、あらゆる目的、あらゆる形式において、作者の著作権と人格権の保護のために、商標、識別マーク、コンピュータープログラムやデータベースを含む創造的なオリジナル作品の適正使用を促進するものとします。

そのため、いかなる形式のものに対しても、それを行う資格を与えられることなく、第三者の作品を偽造、変更、複製、再生、流通するあらゆる行動を禁止します。

6.5 _ 利益相反の防止

対象者は、活動を行うなかで、取引に関与する当事者が利益相反にあたる状況、そのように見える状況は避けなければなりません。

利益相反は、本倫理規定の義務を負う当事者が、いかなる場合においても、グループの利益以外の利益を追求する場合、グループの利益のために判断を行う人物の能力を妨げる活動に関与する場合、グループのビジネスにおいて個人的な利益を得る場合に該当します。

対象者は、グループの利益に反する行動を避けること、またそうした利益の追求は、どのような方法であっても、グループの原則に反する行為を正当化するものではないことを認識するものとします。

何らかの利益相反の場合、本倫理規定が適用される当事者は、適格な会社人員に即座に知らせるものとし、その責任を負う人員のいかなる判断にも正しく従うものとします。

6.6 _ 職場の健康および安全

グループ企業は、コアビジネスを考慮し、事故防止および職場の健康と衛生に関する適用される規制を遵守して、個人の尊厳を尊重した労働状況を提供し、安全で健全な職場を保証します。

グループ企業は、あらゆるレベルの全員に、安全の文化と業務に関連したリスクの認識を強く促進し、採用された安全制度とその不可欠な部分のすべての会社手続きに従い、責任を持って行動するよう促します。

Sportswear Group は次のことを行うものとします：

- グループカンパニーの従業員とそのオフィスを取り巻くコミュニティの健康を守るために、安全、健康、環境に関する企業方針とともに経営戦略に従い、安全な活動を実施する。

- グループカンパニーに属するオフィスや工場で業務を行う従業員全員に対し、彼らが時折さらされることのあるセキュリティリスクに関するトレーニングと情報を保証し、実施する活動の種類に応じて、彼らに法律で規定された手段と個人保護装置を提供する。
- スタッフの無事を保護する安全な職場を維持するため、継続的な安全、健康、環境問題の改善の目標を達成するために、あらゆるセーフティリスクを管理するシステムの成果と効率を、定期的に見直して着実に監視する。
- 意思決定、承認、実施手続きの確認、多様なレベルの責任の特定。

グループカンパニーのオフィス、製造現場、店舗で業務を行う各従業員、フリーランサー、およびその他のいかなる人物も、人員が働く職場環境の安全と質の維持に個人的に貢献すること、採用された安全システムとその一部を成すすべての会社手続きを厳密に守ることが求められます。

そのため、割り当てられた役割と義務によって、全従業員とフリーランサーは次を行うものとします：

- 危険や関連リスクを特定するプロセスや、管理手段の選定と適用に積極的に関与する。
- 職場での各自の活動や行為が、健康や安全、その他の労働者、また環境保護に与える可能性のある、実際または潜在的な結果を認識する。
- 職場での健康と安全に対し、Sportswear Companyのすべての手続きを適用する。
- 適用されるすべての規則および規制を遵守する。

カンパニーは、最初の適用可能な管理手段とは、リスク排除、またはリスクの最小化に代表されると考えます。この優先項目が実施できない場合、技術、手順、個人保護装置で対策を講じます。

7_ 社内の人間関係

グループは、年齢、性別、性的指向、人種、言語、国籍、政治的意見、労働組合の意見、宗教的信条で差別されるべきではない、人間の最高の価値を保護し促進します。

Sportswearはまた、人材の重要性を認識し、あらゆるビジネスの最も重要な成功要因は、そのビジネスで働く人々が、公平かつ相互に信頼できる環境で、職業上の貢献を行うことによって保証されると確信しています。人材は、会社の存在と将来の発展にとってなくてはならない貴重な価値です。

グループは、仕事、職業上の貢献、全員の責任、年齢や経験にかかわらず異なる意見、企業哲学の基本原則としてアイデアの力を尊重することを、グループが所属する国際組織と同じく認識しています。

これにより、カンパニーは、組織のあらゆるレベルにおいて、価値に応じて、差別することなく、平等な機会を約束します。

同様に、従業員とフリーランサーは、専心し、忠実に行動し、業務上のサービスとカンパニーから受けた責任を果たすことを保証することが求められます。

カンパニーはまた、一切の不当な扱いを避け、命令は公平かつ誠実に行われることを保証するものとします。特に、職権が、幅広い意味で従業員およびフリーランサーの尊厳および独立性に有害な権力の行使になることがないものとします。勤務組織の選択は、従業員とフリーランサーの価値を保護するものとします。

カンパニーはその従業員とアシスタントをはじめ、個人の尊厳や職場の安全と健康を尊重した労働状況の物理的・倫理的な無事を保証するものとし、法律および本倫理規定に反して行動するよう人々を導く請求や脅迫、あるいは、すべての人の信念、モラル、個人の選択に有害な行為に關与することは許されません。

さらに、グループは、行動や経験を通じて、また特定のトレーニングを通じて獲得したプロフェッショナリズムはひとつの価値であることを認め、経験ある専門家の重要な貢献を認め、より若いスタッフにその知識と専門家としての態度の継承を奨励します。

Sportswearは、プロフェッショナリズムの向上を追求し、個人の志望や学習意欲、各人の専門家として、人間としての成長を促進します。

8_ 第三者との関係

Sportswearは、個人、集団、機関などの企業の使命の追求にその貢献が必要とされるあらゆる関係者と、その利益がグループの活動に直接・間接的に影響を及ぼす可能性のあるフリーランサー、顧客、サプライヤー、ビジネスパートナー、行政機関、市場、政治組織、社会組織、労働組合との信頼関係の発展に特に配慮しています。

Sportswearは、活動を行うにあたって、Sportswearを代表して仕事をするすべての者に対し、正直で公平な原則に従って、それぞれの関係において正直で、透明性を持ち、法律に従って行動することを求め、収賄、談合、不当な依怙贖賄を許しません。

Sportswear Groupは、提供されるサービスの重要性を認識し、透明性のある活動と行動を約束します。

特にグループは、事業目標を達成するために、違法な行為や不当な行為（あらゆる形式の収賄行動を含む）を慎み、またそのために、直接的・間接的にかかわらず、公共団体、私企業および/あるいはそれが直接・間接的に代表する団体（その親族も含む）から、それらに対して、次のあらゆる種類の報酬、贈答品、経済的利益、その他の利益を与える／約束する、受け取る／受け入れることを禁じます。

- ささやかな価値および礼儀を示す合理的な制限を超えるもの。
- グループカンパニーと、前述の対象者および/あるいは直接・間接的にそれが代表する団体との関係において、その追求する目的にかかわらず、たとえ限定的でも、個々のカンパニーやグループの利益やメリットに不当に影響を及ぼす意図のあると見なされる可能性があるもの。

収賄とみなされる可能性のある一切の行為は、特定の事業領域における「慣例」である、または実施される活動であるという事実に基づいて、正当化されることも許容されることもありません。価値や本倫理規定の原則を傷つけるだけでなく、適用されるあらゆる規制や手続きに違反して行われる可能性のあるいかなる行動をも、課すことも受け入れることも認められません。

そのため、収賄に關し、特に次の注意を要する領域に關して、特定の監視が実施されます：

- 贈答品およびエンターテイメントの経費
- 協賛
- 寄付／会員費／非営利組織
- コンサルタント料および仲介手数料

- ビジネスパートナーやサプライヤーとの関係

カンパニーが第三者との取引で関与する主な事業領域は、次に特定されています。

8.1 _ 顧客との関係

各グループカンパニーは、基本的価値に則し、各顧客が異なるニーズや期待を持つことを認識し、それはあらゆる場合に成長ための機会を提示していることを認識し、すべての顧客との関係を誠実、正直、公平、尊重、相互の信頼、プロフェッショナリズム、独立性、公明正大を基に構築します。

8.2 _ サプライヤーとの関係

グループは、同様に、確固たる協力と相互の信頼に基づく強力かつ長期的な関係を奨励することにより、サプライヤーとの関係を公平で正直なプロフェッショナリズムにより管理します。

サプライヤーの選定、物品とサービスの購入条件の決断は、品質、価格、提供された保証に基づき、目的と公明正大な査定によって行われます。

グループカンパニーは、サプライヤーとの関係において次の原則に従います：

- 会社は、サプライヤーとのいかなる形式の「相互利益」の授受も実施せず、承認しません。グループカンパニーが求める物品／サービスは、その価格や品質による価値にのみ基づいて選定／購入されます。
- サプライヤーとのいかなる交渉も、進行中のもの潜在的なものにかかわらず、交渉下の物品およびサービスのみに関連するものでなければなりません。
- 物品およびサービスの購入に責任を持つスタッフは、慈善団体または連帯組織などへの原料、製品および/あるいは金銭の寄付のために、サプライヤーからのいかなる形式の圧力の対象にもなってはなりません。

誓約は実行されなければならず、サプライヤーとの関係は、進行中あるいは潜在的なものにかかわらず、利益相反や企業経営に関するグループのガイドラインを遵守して管理されるものとします。

8.3 _ 公的機関との関係

国、欧州および/あるいは国際レベルの公的機関をはじめ、公務員または公共サービスの実施を使命されている人物、団体、代表者、代理店、スポークスパーソン、会員、従業員、コンサルタント、文官、公共機関、監督機関および/あるいはその他の独立行政機関とのいかなる関係にも、適用されるすべての法律と規制を厳密に遵守するものとします。前述の関係は、グループカンパニーの各管理部門が認めた弁護士の有効な権限と力により、特に認可された者によってのみ管理されるものとします。

グループと、司法行政機関、官公庁とのいかなる関係も、通常、正確性、完全性、真実性の原則に基づきます。

Sportswearは、役職を問わず、前述のあらゆる対象者との交流において、完全な協力、透明性、公平性の態度を維持するものとします。

8.4 行政機関との関係

公共サービスを担当する公務員、公共団体および/あるいは公共サービスを提供する民間団体（以下、一般に「行政機関」とします）とのいかなる関係も、またあらゆる場合における、公的な性質を持つ関係は、常に適用される法律の規定の厳密な遵守と、透明性、誠実、公平の原則によって導かれるものとし、グループの評判と誠実性をいかなる形でも傷つけてはいけません。

行政機関との関係やいかなる公共レベルでの関係も、特別に指定され、その目的のために権限が与えられた会社の部門により独占的に管理されます。

グループカンパニーは、いかなる行政機関の決断や、特にそれを代表して交渉や決断を行う職員に対し、不正に影響を及ぼしてはなりません。

グループカンパニーは、イタリアあるいはその他の国の行政機関との交渉やビジネス関係において、また商業的性質の交渉時、次を含むがこれに限定されない、前述の原則に反するいかなる行為も行わないものとし、

- 交渉に関与したか、交渉関係にある行政機関の職員、またはその家族に対する仕事の機会および/あるいは商業的利益の申し出や提供。
- 贈答品またはその他の利益の提供や受領。
- 誤った情報の提供、行政機関によって求められたあらゆる関連事実の通知の不全。

イタリア国内や海外のいかなる行政機関と取引を行うSportswearの代表および/あるいは従業員は、直接か第三者を通じてかに関わらず、公務員、政府代表者、文官、民間企業の従業員のいずれに対しても、それらの官職の義務に反した行為の実行の獲得または遅延に対する代償や報酬として、金銭、その他のあらゆる種類の利益、物を支払うことや申し出ることは認められません。

8.5 独立行政機関との関係

グループは、あらゆる公共監視機関によって定められた、グループのビジネス関連領域に適用される規則の遵守を意図した規制を、厳密に遵守するものとし、

対象者は、その機能を果たす独立行政機関のすべての要件に従い、調査手続きに対しては完全に協力するものとし、

Sportswearは、最大限の透明性を保証するために、独立行政機関のいかなる職員/従業員やその家族とも利益相反行為を行いません。

グループに関連した何らかの活動を行うにあたって、前述の権威者による優遇を目的として、いかなる種類の贈答品をも贈ることは認められません。この規定は、提供の約束や申し出、または受領した、利益とみなされるあらゆる贈答品に関するものです。

8.6 その他の団体との関係

グループカンパニーと非営利団体などの民間団体との関係は、あらゆる適応可能な法律に厳密に従うこととし、いかなる形式であってもSportswearの誠実性と評判に傷をつけてはいけません。

誓約は実行されねばならず、民間団体とのあらゆる種類の関係は、会社手続きと責務として、その目的のために特別に権限が与えられた会社の部門とスタッフにより、独占的に管理されるものとし、

8.7 _ 政治団体および社会団体、労働組合との関係

Sportswearは、事業を展開するコミュニティの繁栄と成長に貢献します。Sportswearは、それを達成するために、地域と国のコミュニティを尊重して活動を行い、労働組合やその他の団体との対話を育みます。

政治団体、その代表者や候補者との関係は、適用される規制および会社の指令に厳密に従うことを基本とします。

カンパニーは、社会的、スポーツ、人道的、文化的な取り組みを、社会文化活動の実施を専門とする、またより一般的に、生活環境の向上や平和と連帯の文化の普及を目的とした財団、機関、組織、団体へ、可能性としては助成金を通じて、奨励し支援します。

このような貢献は現行の規制に従って行われ、適切かつ十分に証拠書類が記録されるものとします。

Sportswearは、直接・間接的にかかわらず、あらゆる違法や犯罪目的、また、法律で禁じられたその他すべての目的を追求する組織、団体、活動とのあらゆる種類の関係を促進、保持しません。さらにグループは、その目的が法律で禁じられている団体や公の秩序に反する団体への、対象者のいかなる形式の参加も強く非難し、犯罪行為を目的とした活動やプログラムを単に促進するだけの行為でも、その行為が利益を得るために必要だとしても、拒否します。

8.8 _ 外部とのコミュニケーション

グループカンパニーまたはグループカンパニーと関連するその他の団体に関するあらゆる文書や情報の開示は、適用される法律、規制、業務習慣に従わなければなりません。いかなる場合でも、次の行為は禁じられています：

- ビジネスを行う過程で手に入れた、あらゆる価格志向型の情報の開示。
- ビジネスを行う過程で、グループおよびグループカンパニーと関係を持つその他の団体に関する、誤った、人を誤解させる情報の流布。
- コミュニケーション／広報組織から優遇されることを目的としたあらゆる形式の圧力。

Sportswear Groupに属するカンパニーとマスコミとの関係は、情報の完全性と一貫性を保証するために、責任を持つ会社の部門が独占的に留保します。

製品情報の内容は、常に文書で記録されるか、記録される可能性があります。大げさな主張、普遍的で誇張した宣言、実証できない比較、明確な根拠の欠如は許されません。

9 _ 最終規定

9.1 _ 違反行為およびその結果の懲罰

あらゆる従業員またはフリーランサーが、本倫理規定への違反や、グループカンパニーが採用する行動規則を遵守しない行為の可能性に気づいた場合、その人物は、カンパニーの担当者および/あるいは現行の法律によって特に定められた機関に直ちに通知するものとします。

その後、かかる機関は、あらゆる違反の疑いを確認し、適宜、報告者および/あるいは疑われる行

為者へのヒアリングも行います。

本倫理規定の規則を遵守することは、準拠法に従い、その効力を受けるSportswear Companyの全従業員にとって、契約上の義務の基本的な一部です。

本倫理規定の規則に対する不遵守は、関連するあらゆる法的結果や雇用関係の維持に関連することでも、雇用関係の義務違反および/あるいは規律違反である可能性があり、すべての損害について責任を生じる可能性があります。

対象者は、賄賂や潜在的な収賄への参加を拒否したことで、取引の損失やビジネスにとってその他の不利の結果を生じさせたとしても、いかなる形の差別や罰も受けされられません。

9.2 _ 倫理規定の採用および関連事項の更新

本倫理規定は、2014年7月28日にSportswear Company S.p.a.の役員会により承認されました。

いかなる変更および/あるいは更新も役員会の承認を受け、対象者に早急に通知されるものとします。

グループに属するカンパニーは、必要な場合、本規定を矛盾のない範囲の経営の自立性と特質にあてはまるよう調整し、採用するものとします。